

学 校 便 り

第7号

甲斐市立敷島小学校
平成19年9月27日
文責 新海宏子

9月も終わろうとしているこの時期ですが、本格的な秋の訪れが待ち遠しいですね。

学校では次のステップに向けて活動を開始致しました。まずは落ち着いた学習環境で学習リズムの定着を図る一方、各学年の校外学習も始まりました。トップを切って4年生の社会科校外学習がありました。5年生の林間学校、6年生の陸上記録会を始めとして各学年行事が実施されます。子どもたちには運動会で自信を付けた様々な力をバネにして更に上を目指すべく努力させたいと思います。この時期はひとり一人が大きく成長する楽しみな時期でもあります。

アンケートへのご協力ありがとうございました

ほとんどの感想には、児童の頑張りに拍手、わが子の頑張りに感動したと言ったうれしい感想が寄せられています。児童が頑張れたのは、ご家族の励ましや体調管理があったからこそであり、ご家族のご支援なくして運動会の成功はあり得ませんでした。まずは保護者の皆様へ感謝とお礼を申します。ご意見や要望等のなかで、学校として来年度に向けて検討する余地のある内容については、職員でじっくりと策を練り改善していくつもりです。学校便りには、数多く寄せられた気になる感想や意見を乗せました。

喫煙や飲酒については職員の感想としては昨年度より改善しているという実感を持ったのですが、アンケートの中では、かなりの方が「まだまだ意識が薄い」という感想でした。

前日の場所取りですが守れませんでした。

また、路上への駐車で苦情が寄せられしばしば放送を中断せざるを得ませんでした。大人のマナーに関しては学校での指導の範囲を超えています。児童の指導より大人の指導の方がはるかに難しいです。なかなか注意しにくいこととはご理解ください。また、事前のお知らせに運動会関係の禁止事項を並べて書けば解決する問題ではないと思います。この事については学校ではお手上げ状態です。PTA全体で取り組む問題としてお知恵やお力をいただくしかありません。よろしくお願い致します。

トイレ使用についてはご苦勞があったようです。年々児童数の増加によりご家族の数も増えます。トイレの確保については改善していきます。

また、開催時期についてはもっと遅くの実施をと言う意見がたくさんありました。昔は10月実施が主流でしたが、保育園や幼稚園との運動会の重なりや、対外的な行事や学校行事が10月以降に予定されており学校独自で開催時期を後半にずらすことが困難です。このような理由から”これぞ適期”を選ぶのが悩みの種です。

実施の時期は年間の学習や学校行事等を見通すなかで検討していきたいと思えます。運動会までの練習日程についても考慮していきたいと思えます

全学年が紅白に分かれての戦いは純粹そのものでした。応援団の必死の応援合戦や自分の色の他の学年にがんばりや勝利を託す声や姿に感動しました。閉会式で、優勝旗と準優勝のカップを渡すときはとても辛かったです。悔しさで目に涙をいっぱいためた応援団長の顔を見ると「両方ともこんなに頑張ったんだから優劣は付けないであげたい」と思ったほどです。

自動体外式除細動器(AED)が配備されました。心臓発作による心臓停止状態の時に電気ショックを与えることでより正常に近い状態に戻すことが出来る機械です。今学期から甲斐市内の各学校に1台が配備されました。職員も取り扱いの講習を受けました。配備の場所は職員室です。